

原研シグマ研究委員会 FP 核データ及び炉定数
合同ワーキング・グループ会合議事録

日 時：S. 52年12月23日 11：00～17：30

場 所：原研本部第31会議室

出席者：五十嵐，菊池，松本，中川，西村秀(原研)，渡部(川重)，真木(日立)，
松延(住友原子力)，中嶋(法政大)，大竹，瑞慶覧(PNC)，飯島(NAIG)

欠席者：長谷川(原研)，佐々木(MAPI)，村田，川合(NAIG)，青木(富士)

配布資料：

- (i) 前回(11月22日)議事録
- (ii) Petten FPND 会議 Review paper No 9 の抜粋
- (iii) FP capture cross section 計算値の誤差評価について
(H. Gruppelaar, RCN-75-136(1975)にもとづく.)
- (iv) FP 核データ積分テストの提案

議 事：

(1) 一般報告(五十嵐，飯島)

- 構造材核データ会議(12月初旬，Geel)に浅見哲，大竹，吉田正氏が出席した。
- シグマ委員会2年報を投稿した。12月号に掲載予定。
- S. 53. 5月末-6月始めに NEACRP 会合が東京で開かれる。春の年会のインフォーマル・ミーティングをシグマ・炉物理両委員会共催で開く申し入れを予定している。
- TND Newsletter が発行になった。配布部数の限定はコピーで賄うことを考えている。
- 旅費は FPND, FPRC W.G で予定 400,000円，11月迄の実績が 350,000円。
- 核データ専門部会会合を予定している。構造材とFP核データ会議の報告をしてもらう。

(2) レポート作成について

- 28核種レポート(JAERI-Report)作成経過について菊池，松延氏から説明が

あった。 σ_{tot} , σ_{inel} の測定値と計算値比較も含める予定。川合, 飯島氏の部分が出されていないので急ぐようにとのこと。

- 追加37核種の JAERI-Reportを作る。中川氏が次回に案を出す。
- $\sigma(n, r)$ データの出版(松延氏, 渡部氏担当)について状況報告があり, まとめ方について討議を行なった。結論として, 今のまゝで(但し ORELA データは含める) JAERI-M report にすること(1月31日期限を予定), 又, 他の new dataは次期出版に含める方針が recommend された。
- レベルスキーム編集(松本, 中嶋)を JAERI report とする。1月中旬には原稿を出せる見込。

(3) (n, r) 断面積計算値の誤差評価について(飯島)

配布資料(iii)にもとづいて, Gruppelaar の cross section 統計理論計算値の co-variance 計算手法の紹介があった。Statistical model error の意味について討論があった。Error file の作成に関連して全体的に今後も審議をして行くこととなった。

(4) FP 核データの積分テストについて(飯島)

• 配布資料(iv)にもとづいて, RCN(反応度), CFRMF(activation)の約1500の積分データによる JENDL FPND file のテストを行なう提案があった。討論の結果, 経費の出所は別にしてとにかく実行しようという結論になった。自己遮蔽因子は ETOE コードで計算出来, 200核種位ならば man-power があれば1週間位で出来るだろうとの西村氏の意見があった。次回更に継続審議する。

次回会合予定: S. 53. 1月27日(金) 13:30 - 於東京.

(以上)